

もじ少年自然の家の概要

1 目的

子どもたちが、大自然の中の集団生活・野外活動などの体験を通して、規律・協同・友愛・奉仕の尊さを学び、心身ともにたくましい少年を育てることを目的とする。

2 施設の概要

- (1) 名称：もじ少年自然の家
- (2) 所在地：北九州市門司区大字喜多久784番地の1
- (3) 建設年：昭和56年
- (4) 敷地面積：29,230㎡
- (5) 延床面積：3,565㎡（構造 鉄筋コンクリート3階建）
- (6) 収容人数：200人（新型コロナウイルス感染症対策として現在定員100人）
- (7) 主な施設：【宿泊室】40人×5室、リーダー室×2室、講師室×1
【研修室】3室
【その他】体育館、食堂、プール（25m）、キャンプファイヤー場、
野外炊飯場

3 職員体制

所長1、副所長1、事務員1、指導・ボランティア養成事業主任1、受入事業主任1、
主催事業・受入事業係4、保健衛生員1
（10人体制 ※他に警備員、清掃員）

4 運営

- (1) 利用時間：9時～22時
- (2) 休所日：年末年始（12月29日～翌年1月3日）
- (3) 使用料（1泊）：※市内の小中学生が指導者とともに使用する場合は徴収しない。
小中学生150円、高校生以上（学生）300円、一般750円
※実費シーツ代180円、食事代（3食）1,980円
- (4) 管理委託（現行）：管理業務は指定管理者が行っているが、施設設備の管理（例：清掃業務、ボイラー保守点検等）は外部団体等に再委託している。
食事代については市で決定しており、食堂は再委託契約により運営している。

5 主な事業

- (1) 受入事業（令和3年度実績）
 - ・中学校1年を対象とした「ふれあい合宿」（2泊3日）
14校入所予定であったが、12校が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、2校が日帰り利用となった。

- ・小学校の児童を対象にした「自然教室」（1泊2日）
44校入所予定であったが、宿泊7校、日帰り35校、中止2校となった。
- ・特別支援学校を対象とした「宿泊学習」（1泊2日）
4校入所予定であったが、3校が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、1校が日帰り利用となった。
- ・学校自主利用（1泊2日）
バスケットボールやバレーボールの部活動での利用
- ・子ども会等の青少年団体の実践活動
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日帰り利用が増加

(2) 主催事業（令和3年度実績）

年間 19回 延べ参加人数 7,695人

- | | |
|-------------------------|------|
| ・もじフィッシングクラブ MFC | 年 4回 |
| ・自然体験サマーキャンプ | 年 1回 |
| ・もじアドベンチャークラブ 海の子山の子北九州 | 年 1回 |
| ・親子でHAPPYハロウィン | 年 1回 |
| ・ボランティア養成講座 | 年 4回 |

7 施設管理運営の主な業務

(1) 事業面

- ・施設管理運営の総括
- ・プログラム開発、調査研究
- ・他都市の施設等との情報交換
- ・受入れ事業の指導助言、学校等との連絡調整、事前協議
- ・主催事業の企画立案、実施
- ・施設ボランティアの育成
- ・フィールドの開発、整備

(2) 庶務事務

- ・利用申請の受付、許可、調整
- ・使用料の徴収
- ・収入・支出に関する業務
- ・施設の維持管理
- ・各種調査、照会、回答、利用統計
- ・備品・消耗品等の管理
- ・非常時対策、危機管理（緊急避難所指定）

(3) 管理面（ハード）

- 清掃業務
- 冷暖房設備保守点検業務
- 自家用電気工作物保安業務
- ボイラー保守点検業務（給湯用ボイラーの保守及び熱交換器洗浄）
熱交換器洗浄については2年毎（奇数年に実施）
- エレベーター保守点検業務
- 消防設備保守点検業務（年2回）
- 衛生害虫駆除（年2回実施）
- プール保守業務（ろ過機保守 [清掃・水質検査は所員で実施]）
- 貯水槽清掃業務
- 簡易専用水道検査業務（水道水水質検査は所員で実施）
- 地下タンク漏洩検査業務
- 煤煙測定
- 漏水調査
- LPガス法定点検
- 休日夜間警備業務
- 食堂の運営
- 敷地内の環境整備

(4) その他の業務

- 事業計画書及び収支予算書の作成
- 事業報告書（月報）及び収支決算書の作成
- 自己評価の実施
- 利用者アンケート調査、集計
- 関係機関との連絡調整
- 地域や類似施設との連携に関する業務
- 管理、運営業務の報告
- 会議等の出席
- 指定期間終了にあたっての引継業務
- その他日常業務の調整
- 利用者の安全管理
- 北九州市地域防災計画に基づく避難者の受入れ等

